

シップ・オブ・ザ・イヤー2021の小型客船部門賞に 水素燃料客船「ハイドロビンゴ」

2022.7.23 事務局長 池田良穂

7月22日に海運クラブでシップ・オブ・ザ・イヤー2021の授賞式があり、選考委員長として挨拶をさせていただきました。

シップ・オブ・ザ・イヤー2021には、川崎重工で建造された水素運搬船「すいそ ふろんていあ」が輝き、小型客船部門賞としては、本会団体会員でもあるツネイシクラフト&ファシリティーズの建造した水素燃料船「ハイドロビンゴ」が選ばれました。



表彰された「ハイドロビンゴ」建造の方々。右から藤久保日本船舶海洋工学会長、青沼ジャパンハイドロ社長、神原ツネイシクラフト&ファシリティーズ社長、平田海上技術安全研究所特別研究主幹。

授賞式が終わって羽田空港に着く頃には、青空が見えて、第2ターミナルの6階からは東京港に出入りする船の姿が見え、しばしシップウォッチングが楽しめました。



もやが濃く、遠くの船は霞んでいましたが、レストラン船「シンフォニー・モデルナ」が羽田空港見学のために近くを往復しているのが見えました。